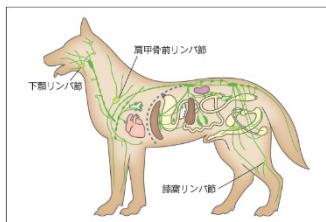
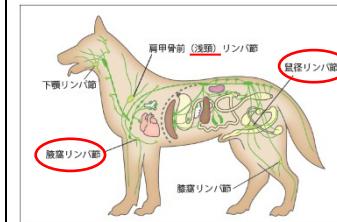


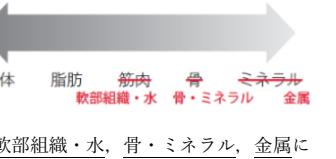
『愛玩動物看護師の教科書 第4巻』(1刷) 訂正とお詫び

ISBN978-4-89531-771-9

下記の箇所に誤りがございました。訂正するとともに深くお詫び申し上げます。

株式会社 緑書房

訂正箇所	誤	正
p.6 右段 8各器官系…8行目	8. 末梢リンパ節	8. <u>体表</u> リンパ節
p.28 表1 心拍数	心拍数 (回/分) 犬 (25kg以上) 正常値 70~100 徐脈 <70 頻脈 >160	心拍数 (回/分) 犬 (25kg以上) 正常値 70~100 徐脈 <70 頻脈 >100
		・25kg以上の犬の頻脈 >100に変更
p.28 表1 呼吸数	呼吸数 (回/分) 犬 正常値 8~20 徐呼吸 <8 頻呼吸 >20 正常値 8~30	呼吸数 (回/分) 犬 正常値 8~20 徐呼吸 <8 頻呼吸 >20 (小型犬では>30) 正常値 8~30
		・小型犬について注釈を追加
p.28 表1 血圧	血圧 (mmHg) 収縮期 100~150 (>160は高血圧) 拡張期 60~110 (<60は低血圧) 平均動脈圧 80~120	血圧 (mmHg) 収縮期 100~140 (>160は高血圧) 拡張期 60~110 (<60は低血圧) 平均動脈圧 80~120
		・収縮期の正常値を 100~140に変更
p.30 左段 (1)評価 10行目	30回/分を超えると	大型犬では 20回/分, 小型犬では 30回/分を超えると
p.32 左段 10. 動脈血…2行目	酵素とどの程度	<u>酸</u> 素とどの程度
p.38 図17		 ・肩甲骨前(浅頸)リンパ節に変更 ・腋窓リンパ節, 鼠径リンパ節を追加
p.38 図17 タイトル, p.39 左段8. 見出し, 8. 末梢リン…1行目	末梢リンパ節	<u>体表</u> リンパ節

訂正箇所	誤	正
p.39 左段 8. 末梢リン…2行目	肩甲骨前リンパ節	肩甲骨前(浅頸)リンパ節
p.114 右段 下から4行目	撮影方法は従来のフィルムを用いた方法と同一ですが、撮影部位の厚さが10cm以上あってもグリッドは必要ありません(後述)。	撮影方法は従来のフィルムを用いた方法と同一です。
p.115 左段 (1)X線発生…2行目	光らない電磁放射線と定義されます。	目に見えない電磁放射線であるといえます。
p.115 右段 8行目	増感紙(スクリーン)	フィルム
p.116 右段 3. 放射線防…3行目	組織の変化あるいは変質などの悪影響が生じます。真皮, リンパ組織, 造血組織, 白血球生成組織, 乳腺	組織の変化あるいは変性などの悪影響が生じます。真皮, リンパ組織, 造血組織, 乳腺
p.119 POINT	 気体 脂肪 筋肉 骨 ミネラル	 気体 脂肪 筋肉 骨 ミネラル 軟部組織・水 骨・ミネラル 金属 ・軟部組織・水, 骨・ミネラル, 金属に変更
p.120 右段 2行目	撮影の際はフィルムやグリッド, 増感紙は	撮影の際はフィルムや増感紙は
p.120 右段 (1)撮影準備 下から4行目	撮影部の厚さが10cmを超えるようであればグリッドも準備します (DRの場合は不要)。	撮影部の厚さが10cmを超えるようであればグリッドも準備します。
p.121 表2	AP (Anteroposterior) view PA (Posteroanterior) view	AP (Anteroposterior) view DP (Dorsopalmar/planter) view PA (Posteroanterior) view PD (Palmaro/Planto-dorsal) view ・DP (Dorsopalmar/planter), 背掌(蹠)側, PD (Palmaro/Planto-dorsal), 腕(蹠)側, 背側 AP (Anteroposterior) view DP (Dorsopalmar/planter) view PA (Posteroanterior) view PD (Palmaro/Planto-dorsal) view
p.122 図16 キャブション7行目, p.127 図26 キャブション3行目, p.128 図28 タイトル, キャブション	AP像(前後像)	DP像(背掌(蹠)側像)
	PA像(後前像)	PD像(掌(蹠)背側像)

訂正箇所	誤	正
p.126 左段 下から 2 行目	前後/後前 (AP/PA) 像	背掌 (蹠) 側/掌 (蹠) 背側 (DP/PD) 像
p.127 左段 下から 1 行目	AP/PA 像	DP/PD 像
p.130 右段 ④ 尿路 1 行目	静脈性尿路造影法	<u>排泄性尿路造影法</u> (静脈性尿路造影法)
p.131 左段 ② 泌尿器…1 行目		
p.130 右段 [静脈性…]1 行目	静脈性尿路造影法	<u>排泄性尿路造影法</u>
p.130 右段 [静脈性…]4 行目	イオン性ヨード造影剤やメグルミン アトリゾエートが	非イオン性ヨード造影剤が
p.131 右段 [逆行性…]5 行目	空気塞栓	<u>ガス塞栓</u>
p.210 問題 2②	猫で 90~160 回/分である。	猫で 90~160 回/分が正常である。
p.210 問題 2③	8 回/分以下	8 回/分未満
p.214 問題 2②	猫で 150~210 回/分です。	猫で 150~210 回/分が正常です。
p.214 問題 2③	8 回/分以下を徐呼吸、犬では 20 回/ 分、猫では 30 回/分以上で頻呼吸	8 回/分未満を徐呼吸、 <u>大型犬</u> では 20 回/分、 <u>小型犬</u> および <u>猫</u> では 30 回/ 分を超えると頻呼吸
p.231 図 10 キャッシュ 6 行目	三角帶	<u>三節帶</u>
p.255 左段 [ナイロン糸]1 行目	起こすことはありませんが	起こすことは <u>ほとんど</u> ありませんが
p.255 右段 ④ 縫合糸を…4 行目	組織反応の激しい順に、①天然素材 のマルチフィラメント、②合成マル チフィラメント、③合成モノフィラ メントとなります。	<u>素材による</u> 組織反応の激しい順に、 ①天然素材のマルチフィラメント、 ②合成マルチフィラメント、③合成 モノフィラメントとなります。 <u>組織</u> <u>反応が</u> 小さい縫合糸であっても、激 しい組織反応を起こすことがあります。
p.255 右段 [重度の…]1 行目	ポリグリコール酸	ポリジオキサン

訂正箇所	誤	正
p.454 右段 (1) 固定…3 行目		リン酸バッファーまたは水や生理食 塩水で希釈して作製します (例: ホ ルマリン原液 10mL をリン酸バッフ アーや水 90mL で希釈 = 10% ホルマ リン溶液)。リン酸バッファーを用い たものはリン酸緩衝ホルマリン液 (中性緩衝ホルマリン液) とよばれ ます。
p.463 問題 13③	ホルマリン溶液は市販のホルマリン 原液をリン酸バッファー (pH6.4) で希釈して作製する。	組織検体は 80% のホルマリン溶液に 浸漬して固定する。
p.466 問題 13③		組織検体は 10~20% のホルマリン溶 液に浸漬して固定します。市販のホ ルマリン原液 (ホルムアルデヒド 37%) を、水あるいは生理食塩水で希釈して作 製します。ホルマリン原液 15mL の場 合、水 85mL で希釈すると 15% ホルマ リン溶液となります。

(4.8)